理事会だより　2026年度 第6回理事会（2026年10月9日開催）

■仲間づくり(9/20現在)

９月度純増	331人
組合員数	11万9,506人
組織率	10.6%

■出資金(9/20現在)

９月度純増	36万円
出資金総額	47億7,334万円
1人当り平均	3万9,942円

■損益の状況

	9月度 (8/21～9/20) 実績額	予算比	前年比
供給高	12億4,795万円	98.9%	96.2%
事業総剰余金	4億　42万円	97.1%	93.2%
事業経費合計	3億8,595万円	98.1%	102.1%
経常剰余金	1,889万円	83.8%	34.1%

	2026年度累計 (2026/3/21～2026/9/20) 実績額	予算比	前年比
供給高	73億7,600万円	99.5%	100.4%
事業総剰余金	23億9,552万円	98.9%	97.6%
事業経費合計	23億5,258万円	94.9%	103.3%
経常剰余金	7,798万円	―	37.5%

※1万円未満は切り捨てで表示しています。

報告事項

以下の事項について報告しました。

第１号議案　前回理事会以降の主な活動報告承認の件
第２号議案　９月度経営・事業報告承認の件
第３号議案　９月度組合員活動・地域連携推進報告承認の件
第４号議案　秋の総代懇談会開催のすすめ方について
第５号議案　上期のまとめと下期の課題の件
第６号議案　この間の報告の件　府連：組織活動員会、ジェンダーフォーラム文楽・コンサート実行委員会、消団連消費者政策委員会、CASA理事会、茨木畑田居場所づくり

議決事項

以下の事項について議決しました。

第７号議案　核兵器禁止条約への署名・批准を求め、核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加要請の件
第８号議案　第２回「みんなのよみきかせ絵本大賞」への協賛の件
第９号議案　２項組合員加入承認の件

10月9日（金）の理事会で、下記文書について確認されました。

11月30日から12月4日にかけて、アメリカ・ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約第1回再検討会議が行われます。5月におこなわれた核兵器不拡散条約の再検討会議でウクライナ情勢や中東情勢などをめぐる対立から、3回連続で最終文書を採択できずに閉会しました。同会議には日本被団協と協同の代表団派遣に大阪よどがわ市民生協の職員も参加しました。理事会ではその報告会や平和の学習会・取り組みを重ね、核兵器禁止条約第1回再検討会議にむけて日本政府に対し、「核兵器禁止条約への署名・批准を求め、核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加」を要請しました。

力（武力）による現状変更を試みる動きが当たり前の世界にならないようにこれからも平和を大切にし、核兵器のない世界の実現に向けて学び、考え、行動する取り組みを組合員のみなさんと一緒にすすめていきたいと思います。

内閣総理大臣
高市　早苗殿

２０２６年１０月９日

大阪よどがわ市民生活協同組合
理事会

核兵器禁止条約への署名・批准を求め、核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を要請します

核兵器禁止条約への署名・批准を求め、２０２６年１１月にアメリカ・ニューヨークの国連本部で開かれる、核兵器禁止条約の第１回再検討会議へ、日本政府のオブザーバー参加を要請します。

核兵器の開発・保有・使用を全面的に禁止する核兵器禁止条約は、核兵器を持たない国々が中心となって核兵器の非人道性を明確に示し、核なき世界の実現を目指しています。唯一の戦争被爆国である日本が、この歴史的な議論の場にオブザーバーとしてすら参加しないとしたら、私たちは世界に何を語り継いできたのでしょうか。被爆者の方々が命を懸けて紡いできた言葉を、世界のリーダーたちに直接届ける機会を放棄してよいのでしょうか。日本には、被爆者の記憶を世界の記憶にする責任があると考えます。

私たち大阪よどがわ市民生活協同組合は、「よりよきくらしと平和のために」の理念のもと、平和学習や被爆・戦争体験の継承活動、核兵器廃絶の取り組みを継続してすすめてきました。また、2026年5月には核兵器不拡散条約再検討会議の開催にあわせて職員を現地に派遣し、核兵器のない世界の実現に向けた取り組みの重要性を改めて認識しました。

現在、国際的な緊張が高まり、ウクライナや中東での核兵器使用への懸念がかつてなく強まっています。軍事力、暴力で自らの意見を押し通すことは、決して許されることではありません。武器を使えば敵が増える、言葉を使えば仲間が増えます。いま必要なのは、対話を重ね、相互の信頼を築くことです。

大阪よどがわ市民生活協同組合は、これからも平和を大切にします。国際法が破られることを「仕方がない」とせず、おかしいことには「おかしい」と声を上げる、一人ひとりの行動の積み重ねが、国際社会を変えていく力になります。社会で起きていることに目を向け、自分事として考え、意見を組合員や社会に発信し、協力・協同、たすけあいを大事にする生協でありたいと思います。

監事会だより

7月15日　総代会に関する監査
- 総代選挙から総代会の開催準備、当日の運営、事後処理等、総代会に関する一連の取り組みが、法令・定款及び各規約に則ってすすめられているかを監査しました。

8月18日　大阪府生協連理事監事研修会（大阪府社会福祉会館）
- 『生協における役員の職務と責任』をテーマにした学習などに参加しました。

8月19日　第４回監事会、代表理事・常勤理事との意見交換
- 今後の監査計画について審議しました。
- 代表理事・常勤理事と意見交換を行いました。

9月　2日～3日　日本生協連監事基礎研修会（ホテルマイステイズ新大阪）
- 監事監査に関する学習講演や他生協との交流などに参加しました。

9月　9日　大阪府生協連理事監事研修会（大阪府社会福祉会館）
- 『監事監査の基本と監査のポイント』をテーマにした学習に参加しました。

9月11日　第５回監事会
- 中間監査など今後の監査計画の具体化について審議しました。

10月　9日　第６回監事会
- 中間監査のすすめ方、年度内の監査計画などを審議しました。
- 政策企画室へのヒアリングを行いました。

その他、監事は理事会、理事懇談会などに出席しています。



9月度 商品検査報告

8月21日～9月20日



安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。
放射能検査の取り組みは、よどがわ市民生協のホームページにも掲載しています。

★商品検査の取り組み状況　商品検査数 1,000件（前年 1,282件）

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果	
微生物検査	739	なし	再検査・継続検査・調査を要するものが、新規品共にありませんでした。	商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。
残留農薬検査	47	なし	問題ありませんでした。	
食品添加物検査他	44	なし	問題ありませんでした。	
残留放射能検査	20	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。（検出限界値は20ベクレル/kg）	
卵質検査	117	なし	問題ありませんでした。	
輸入食肉検査	13	なし	問題ありませんでした。	
アレルゲン(卵乳・小麦)	20	なし	問題ありませんでした。	

※おおさかパルコープ商品検査室にて実施（1件外注検査あり）





9月度 8月21日～9月20日 あなたの声を聴かせてくださいカード報告



組合員さんの願いをもっと実現できるように、生協へのご意見・要望を『あなたの声を聴かせてくださいカード』にてお聴きしています。カードは毎月1週目の配送時に配布しています。複数枚、必要な場合は、**配送担当者またはコールセンター（☎0120-727-263** 月～金 9時～21時 / 土 9時～17時）にお申し込みください。

	商品への意見・質問など	既存商品の企画要望	新規商品取扱い希望	おすすめの声	商品以外（仕組・お礼など）	総計
受付件数	180	115	13	487	86	881
実現事例	●ハグルマさんの『三ツ矢 とんかつソース』が、どんなフライ物にかけてもおいしいです。家族全員熱望しているため、企画してほしいです。					11月4回実現